

# 令和5年度 第3回燕市子どもの貧困対策検討会議 会議録（要旨）

日 時：令和6年2月5日（月） 午後2：00～午後3：00  
場 所：燕市役所3階301会議室

出席委員：小池委員（会長）、江澤委員、佐々木委員、稲田委員、玉木委員、  
細川委員、清水委員、河合委員、田村委員

欠席委員：齋藤委員、佐藤委員

事務局：白井こども政策部長

（子育て応援課）鈴木課長、羽入田課長補佐、服部副参事、滝沢主任  
燕市子どもの貧困対策庁内推進会議委員

（学校教育課）関根主任指導主事、岡田課長補佐

（社会教育課）高口主任 （社会福祉課）渡邊係長

（保険年金課）小黒係長 （こども未来課）大坂係長

（子育て応援課）番場副主幹、笠原福祉支援専門員、  
吉川保健指導専門員

報道機関：なし（非公開）

傍聴者：なし（非公開）

## 1. 開会

## 2. こども政策部長 あいさつ ＜子ども政策部長よりあいさつ＞

## 3. 議事

（1）「心配ごとに関するアンケート」について

＜事務局より議事について説明＞

＜質疑＞

（委員）

アンケートの結果を見ると、教育費、進路、学力など学校に関わることが多い。学校の教材費も高騰しており、家庭に負担してもらっている部分も出てきている。学校としては、クロームブックの活用に慣れてきたので、そちらで工夫できないか検討していきたい。

（委員）

教育費と学力は保護者の大きな関心事と再認識した。

(2) 子どもの貧困対策に関する今後の取組について

<事務局より議事について説明>

<質疑>

(委員)

ヤングケアラーサポート事業とは具体的にどのような内容か。

(事務局)

家事代行サービスを国の補助事業として行うことを検討している。また、サービスを拡充しても、ヤングケアラーについて認識されていなければ支援につながらないため、啓発に力を入れていく。庁内でプロジェクトチームを作って支援策などを検討してきたが、そちらで既存の支援サービス等を取りまとめ、周知を行っていきたい。

(委員)

ヤングケアラーについて燕市の現状を教えてください。

(事務局)

新潟県より通知があり、燕市でもヤングケアラーの実態調査を令和5年度は7～8月に行った。小学校4年生～中学3年生を対象としたアンケート調査を行ったが、ヤングケアラーとしての支援対象者はいなかった。

4 その他

<事務局より事務連絡>

5 閉 会

以上